

【様式1】

① 食育月間の取組

| | |
|--------------------|---|
| 提出都道府県名 政令指定都市名 | 三重県 |
| 取組市町村名 取組団体・企業名 | 東員町立神田小学校 |
| 取組の名称 | 給食委員会による「お残し0週間」 |
| 実施時期 | 5月下旬～6月4日 (学校の行事の関係で5月に前倒して取組が始まっています) |
| 取組内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・全校集会で、給食委員会からワゴンの片づけ方について発表をしました。プロジェクターで写真を見せながら、正しい片づけ方や、お世話になっている配膳員さん達の紹介や感謝の気持ちを持つことを伝えました。集会后、給食週間中やその後も、集会で見た写真や教えてもらったワゴンの片づけ方を意識しワゴン返却する姿が見られました。 ・給食委員会が中心となって、『お残し0週間』『牛乳パックの整頓強化週間』の取組を2週間行いました。 <div style="border: 1px solid green; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物を大切にする。 ・好き嫌い無く食べる。 ・食器等をきれいに片付ける。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・給食のメニューの中から、全校児童が残しそう（苦手）なメニューを毎日2品選び、お残し「0」メニューとして各クラスに事前に知らせておくことで、意識して食べるようになりました。お残し0のクラスが増えました。 ・苦手な物もがんばって食べようとする姿がたくさん見られました。 ・お残し0が達成できると担当の給食委員さんからシールがもらえ、2週間の取組期間中、全部達成できたクラスには、賞状『給食週間認定証』が渡されました。 ・ワゴン片付け（食器や牛乳パック）をきちんとできるように、各クラスでチェックを行ったり、給食委員会の児童や職員が最終チェックを行ったりすることで、後片付けも責任を持って行うことができました。 |